

分科会レポート

2021/10/16

分科会名	名前	支部・分会名	レポート名	レポート概要
算数・数学	宮澤弘道	東村山・北山小	どうやる？習熟度別算数授業	子どもたちに劣等感や差別意識をうえつける「習熟度別」授業ですが、そのような中でもできる「よりました」な授業を実践をもとに探ります。
特別分科会	曾根 玲 小田正道	南部教組 武蔵村山第一小	なぜ進まぬ？長時間労働是正	「ブラック」と揶揄されるようになってしまった教育現場。なぜ改善されないのか？その要因を現場の実態をもとに考えたいと思います。
生活科	吉田 学	青梅・新町小	「しぜんのたより」学級経営と子どもの居場所としての自然観察	子どもの発見をクラスのみならず共有します。そうしているうちに、お互いがお互いを大切にします。そして子ども一人ひとりの自尊感情を育みます。
職場の民主化 PTA	桜井秀樹 大浦眞治	杉並・八成小 杉並教組	職場・支部一体となった「パワハラ根絶」の取り組み	ここ数年、校長等のパワハラで病休・休職者が急増。職場・支部一体となった「パワハラ根絶」の取り組みとその原因を考えます。
	亀井修司 藤田直彦	世田谷・世田谷中 世田谷・八幡小	オリンピック・パラリンピック学校連携観戦の世田谷教組の取り組み	コロナ禍でも開催したオリパラのねらいを、世田谷教組の取り組みを振り返りながら、皆さんと共に考えたいと思います。
人権教育	澤田幸治	東村山・青葉小	ハンセン病問題から学ぶ人権	「正しい知識が差別をなくす」からもう一歩進め、「人権問題を学ぶことから差別を減らす試み」。子どもたちと考えながら実践した一年半の歩みです。
社会科	阿部桂佑	大田・糎谷小	調べ学習等での防災教育実践報告 一福島からの避難者の「受け入れ教育」とその前段階としての「理解教育」のために	学習指導要領に10年たってやっと位置づけられた防災。しかし、「原子力災害」には触れていない。福島は今なお原子力緊急事態宣言中なのに！社会科・国語・避難訓練で取り組んだ実践報告。
平和教育	片桐育美	荒川・第四中	ヒロシマ修学旅行 その経過と現在	東京都は広島も「修学旅行専用列車」が使えるよう方針を変え実現した修学旅行。1年時からの取り組みと現在を伝えます。
環境教育	天笠敏文	青梅・霞台小	「環境・エネルギー」!? どうしようもない ウンがまかり通っている	小型核融合炉?水素社会?こんな言葉が無責任に垂れ流され、ECOを旗印に電気自動車が売り出されていますが..
「障害」児教育 10月23日開催	佐谷 修	杉並・三谷小	スキマノジカン	ねらいやめあてにまっすぐ進むことが良いとされている授業。働き方や組織の改革で効率的であることが最優先のような職員室。毎日毎時間息がつまるような学校に適応できない時、スキマが子どもたちを救うことがある。ちょっと斜めに学校と関わりながら、子どもたちとのんびりすごした日々の記録です。